令和８年１０月２６日　*vol.29*

「叶わない願いもあるのです」

県立神戸高等学校長
新谷　浩一



○　ラグビー部の話

８月最後の日曜の夕暮れ時、私はコベルコ神戸スティーラーズラグビーグラウンドにいました。芝がきれいに整った神戸スティーラーズのホームグラウンドにて行われた大阪の北野高校との定期戦。うだるような昼の暑さが薄れ、少しだけ秋の気配が漂う中、本校ラグビー部員は楕円形の球を必死に追いかけていました。



膠着状態が続いた前半から一転、後半はトライを重ね、相手を突き放しての完勝。とは言え、監督の埜田先生は今一つさえない顔。「怪我人が多くて、もう一つ乗り切れていないですね…」。それでも夏が過ぎるとともに１人、２人と怪我から復活し、この秋の大会にはほぼベストメンバーが組めるようになってきました。



先日も雨の中、ボールを追いかける彼らを見ていました。先週末は報徳学園戦でしたね。当初から母の三回忌が入っていた私は、事前にキャプテンに話しかけました。「ごめん、僕は行けないんだけど、吉岡教頭先生が行ってくれるから…」と。その時の後藤くんの返しが見事でした。「えっ、教頭先生はどっちの応援をするんですか」。**吉岡先生は言わずと知れた報徳学園ラグビー部ＯＢ。３人で顔を見合わせ大笑いをしました。大丈夫だったでしょ。吉岡先生は神戸高校のラグビー部員が大好きなので。**

○　水泳部の話



先々週には近畿高等学校新人水泳競技大会が奈良県大和郡山市でありました。４人も出場を果たしてくれ、他の部員も遠征してくれました。「会場が遠すぎるので…」と井上先生は遠慮してくれましたが、１日だけ出張と重ならない日がありましたので、私も現地に向かいました。屋外プールでの近畿大会。気持ちいいくらいの青空でした。







石金くんの 50m自由形と小寺くんの 100mバタフライ、そして廣田さんの 100m平泳ぎを応援させてもらいました。**インフルエンザ上がりの部員もいて、本調子とはいかなかったようですが、それでも近畿大会出場です。来夏を楽しみにしましょう。ちなみに前日に 50mバタフライに出場した船迫さんも「自己ベストが出ました」と嬉しい報告をしてくれました。大舞台で自己ベスト。唯一の１年生部員、心強いですね。**



○　テニス部の話

中間考査１週間前となり、届等が提出されていない部活動がなくなった校庭をぶらぶら歩くのが好きです。試合が間近で最終調整をしている部もあれば、自主的に身体を動かしている部もあります。どの部も私の姿を見かけると気持ちの良い挨拶をしてくれて嬉しいのですが、その日はテニス部の男子に話しかけられます。「校長先生、兵庫高校との定期戦、応援お願いしますよ」との言葉。そこで、私は表情を曇らせます。

いくつか任されている役割の中に全国高等学校長協会の役職があるので、今週は水曜の朝から週末まで東京なのです。日程調整がうまくできなかった私は、この度の定期戦は前日の壮行会で出場する皆さんを励ましたら、当日は応援ができないのです。春は兵庫高校のいいところばかりが目立った定期戦。出場する皆さんは雪辱する気満々ですよね。全校生でしっかり応援して、後日、いい報告をくださいね。お願いします。

そうそう。「定期戦、見られないねん。ごめんな」と言った私に、心から残念そうな顔をしてくれた君へ。**『化学の実験での楽しそうな顔も、合唱練習のときにクラスを明るく盛り上げている姿も、僕はさんざん見せてもらっているよ。いつもあたたかい気持ちにさせてくれて有り難う。今度の試合は応援に行くからな』**